

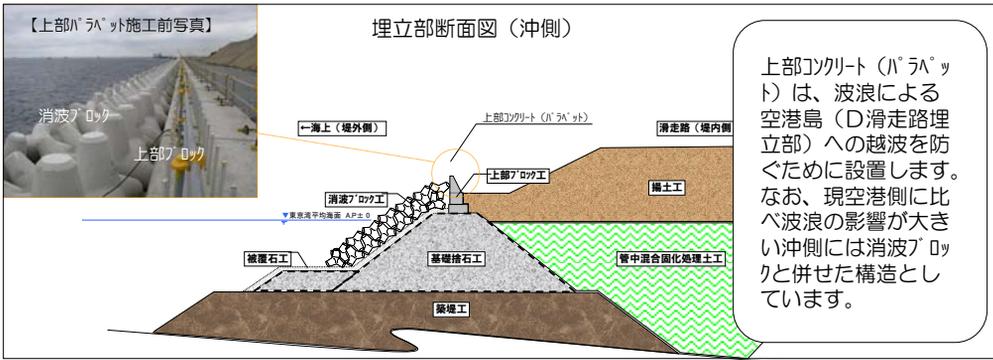
埋立部	栈橋部
接続部	連誘部
環境	その他
工種名：上部コンクリート工	

今回の現場日記は、上部コンクリート（パラペット）工について紹介します。土木や建築関係に関わり合いの少ない方は、『パラペット？』と疑問に思われるかもしれません。パラペット（Parapet）とは、橋等の欄干や建物のベランダ壁、陸屋根の腰・胸壁のことをいいます。D滑走路建設工事においては、埋立部内への越波対策として設ける上部コンクリート壁がパラペットとなります。



破線箇所がパラペットの施工線を示しています。（接続部護岸部を除く埋立部全域）  
平成21年11月12日現在の進捗は、総施工延長4,400mに対し約400mとなっています。

- 施工フロー**
- ①準備工
  - ②型枠組立
  - ③コンクリート打設  
(写真③参照)
  - ④養生
  - ⑤型枠脱型
  - ⑥伸縮目地取付
- ※②～⑥を繰り返し施工します。



上部コンクリート（パラペット）は、波浪による空港島（D滑走路埋立部）への越波を防ぐために設置します。なお、現空港側に比べ波浪の影響が大きい沖側には消波ブロックと併せた構造としています。



↑コンクリートポンプ船によるコンクリート打設状況。写真のように、堤外（海上）からコンクリートを打設します。

※パラペットは、傾斜堤護岸で5m幅、ケソク護岸では20m幅で打設します。

※コンクリートポンプ船とは？  
コンクリートの製造・打設ができる船舶のこと。